

★ **自由党 代表 小沢一郎**

緑の党様の第7回定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。また、日頃より大変ご指導をいただっており、改めまして厚く御礼申し上げます。

昨年の衆院選では、緑の党の皆様方には「結集」に向けて多大なるご奮闘をいただきました。

各地の結集の動きは、皆様方の御活躍に強く後押しされた部分も大変大きかったように思います。

残念ながら、安倍総理の突然の冒頭解散により、与党が大勝し、ますます権力の暴走と私物化が進んでおります。

これ以上安倍政治を許すなら、この国は危機的状況に立たされるでしょう。今を踏ん張りどころとして、ここで絶対に阻止しないとはいけません。

そのための「結集」であります。野党そして市民の皆様方の結集こそ、すべての大前提であります。

この国をいつか来た道に戻さないためにも、民主主義を守るためにも、国民の生活が第一の政治を実現するためにも、今こそ「結集」の時です。

引き続き私達も「結集」に向けて命をかけて戦います。ともに頑張りましょう。

★ **音楽評論・作詞 湯川れい子**

このアジアで、小さな日本が生き残るためには、本当なら食の安全、良い水やおいしいお米などが重要な資産であり商品となるべき物でしたが、福島原発事故の汚染が大きなネックとなっています。

武力でもアメリカの核の傘の下でもなく、日本が世界から注目されているのは実は医療の力です。技術と最先端のテクノロジーと親切と。

すでに台湾、中国、インドなどから重要人物が日本の医療を受けに沢山来日しています。国策として日本の医療の充実に力を入れる事を主張してみてください。

★ **長野県中川村 曾我逸郎**

緑の党第7回定期総会のご盛会、真におめでとうございます。

また、先の衆議院選挙では、飯島町の坂本議員様をはじめとして一方ならぬご支援を賜り、大変ありがとうございました。

選挙では、日本の選挙制度、政治制度の課題を痛感させられました。緑の党の皆さんも、海外とは異なる日本のローカル・ルールにご苦労されていること、お察し申し上げます。

日本の政府、財界は、既に破綻が明白な原発に執着し、国民の税金で保証してまで輸出しようとしています。一方で、太陽光発電をはじめとする自然エネルギーのコストはどんどん低下し普及が拡大しているのに、日本企業は置き去りになっています。自慢の自動車産業も、EV化の波に出遅れてしまいました。

日本の政治、経済は、地球のあるべき未来を思い描いてその実現にリーダーシップをとるだけの能力に欠けた人たちに牛耳られているのです。バブルの時勢に乗っただけの、組織内政治に長けただけの団塊の世代が、将来ビジョンもないまま居座って、若い芽を押さえつけてい

る。もうそろそろ世代交代をして、フレッシュな視点で未来を築いていかないと、日本は凋落の一途です。

ところが、彼らの無能のせいで、若い世代はゆとりのない状況に追い込まれ、ものごとを批判的にとらえる力まで奪われています。

緑の党の皆さんには、是非とも若い人たちを勇気づけ、閉塞をひっくり返して頂きたい。改憲策動、労働関連の法制度変更、生活保護水準の引き下げ、種子法の廃止など、将来世代の暮らしに直接影響する問題が目白押しです。このような問題をみんなでもともに考えることで、正當に怒る力を復活させて頂きたい。

緑の党の益々のご活躍に期待いたします。

★ **日本共産党衆議院議員 宮本 徹**

緑の党第7回定期大会の開催おめでとうございます。

緑の党グリーンズジャパンのみなさまには、昨年おこなわれた衆議院選挙で、東京20区の市民と野党の共同候補として、ご支援いただきありがとうございました。

みなさまとお約束した公約の実現へ全力でとりくんでまいります。

国会は、1月22日から、通常国会がはじまりました。

安倍首相が改憲について「実現するときに迎えている」と言明するもと、いよいよ憲法を守る戦いの正念場です。

市民と野党の共同を広げ、憲法9条を守り、安倍政権の打倒へ力をあわせましょう。

★ **市民ネットワーク千葉県 共同代表 入江晶子**

このたびは第7回定期総会、誠にありがとうございます。

大変不穏な政治状態が続いておりますが、憲法9条改悪阻止、原発廃止の早期実現に向けともにがんばってまいります。

ご盛会をお祈り申し上げます。

★ **立憲民主党 衆議院議員 荒井 聡**

緑の党グリーンズジャパンの皆様方には、平素よりのご高配に感謝申し上げますとともに、貴党の第7回定期大会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

貴党の政策理念である「市民が自ら決定し行動する民主主義、討議し政治に参加する民主主義」への皆様方の取組に敬意を表する次第です。

本日の定期大会にて、有意義な意見が交わされることを期待するとともに、更なる発展に向け、貴党の強固な団結を確認する場となることを祈念申し上げます。

本日出席の皆様方の一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いのメッセージとさせていただきます。

★ **衆議院議員 池田まき**

本日は、「緑の党第7回定期総会」のご盛会を心からお慶び申し上げます。

政治、経済、社会保障、環境、教育など、どの分野をとっても現在の日本は大きな変革期に直面しています。新しい時代をつくるためには、国民ひとり一人と議論し、絆をつくり、ボトムアップの意思決定を通して、民主主

義の理念を真に追求できる政党が力をつけていかななくてはなりません。

そうした中で、環境、人権、男女平等などを理念として掲げる貴党の定期総会が「7回」の歴史を数えるというのは、日本の民主主義の歴史にとって大変貴重であり、心強く思っています。

不寛容と分断の政治が、まかり通っています。私も、改めて国民の皆さんの声をしっかりと受け止め、寛容で豊かな社会の実現に向け全力を尽くす決意でございます。

本日御参会の皆様のご健勝と貴党の御発展を御祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

★ **新社会党兵庫県本部 菊地憲之**

第7回定期総会のご成功を心より祈念します。昨年10月の解散・総選挙では兵庫9区の私さくち憲之野党共同候補への力強いご支援をいただいたことに心より感謝を申し上げます。

総選挙では民進党の分裂により市民と野党の共闘が十分に発揮できず、自民党の大勝を許す結果となりました。安倍自民党による自衛隊を9条に書き込む改憲案の発議を止めるために安倍9条改憲 NO! 3000万署名に全力をあげましょう。

定期総会では、緑の党の運動と組織が大きく発展するようお祈り申し上げます。ともに頑張りましょう。

★ **衆議院議員 尾辻かな子**

定期総会の開催おめでとうございます。

新しく誕生した立憲民主党は、昨年末に確定した綱領において、草の根からの民主主義の実践、一日も早い原発ゼロの実現、等を掲げています。私尾辻かな子も「誰も置き去りにしない」政治の実現を目指して、皆さまと共に歩んで参ります。

本日の総会を機に、緑の党のご発展とご参集の皆さまのご健勝を祈念申し上げます。

★ **新社会党中央執行委員長 岡崎宏美**

新社会党への日頃のご指導、ご鞭撻に改めて感謝申し上げます。

さて、2017年衆院総選挙は自公与党政権の3分の2議席確保を許してしまいました。野党第一党の民進党が分裂し、野党協力の態勢が破壊されたことが最大の原因ですが、しかし、立憲野党の前進を支えてきた全国の市民の奮闘で、立憲民主党を野党第一党へと押し出し、立憲政治の砦を守ることができました。あらためて、この共闘の流れを大きく深化させることこそ歴史を進める大道であることを証明しました。

今年は沖縄県知事選挙を経て、来年の統一自治体選挙と参議院議員選挙に向かいます。安倍政権は逆に改憲発議・国民投票の年と位置づけるでしょう。憲法と生活を欠けた決戦前夜の年となります。新社会党はあらゆる局面での労働者・市民と野党の共同・共闘の強化に全力を尽くします。

市民と野党の共同に力を注ぎ、仲間の輪を広げる運動に、ともに、奮闘しましょう。

★ **立憲民主党副代表 衆議院議員 佐々木隆博**

緑の党第7回定期総会の開催、誠におめでとうございます。ひとこと連帯のご挨拶をおくらせていただきます。

日頃より原発ゼロ実現をはじめ、ローカルでグローバルな視点を持ち、「未来への責任」と「信頼」にもとづく社

会実現のための皆さまのご活動に、心から敬意を表します。また、昨年の衆議院選挙におきましては、貴党から多大なるご支援、ご協力をいただき、4期目の当選を果たすことが出来ましたこと、心から御礼申し上げます。

緑の党第7回定期総会が、平和で安心して暮らせる社会を築くため、真摯な討論のもと実りある会となりますよう、心からお祈り申し上げます。

安倍政権の暴走ぶりは、共謀罪の強行採決や憲法改悪の動き、森友・加計学園・スパコン疑惑など目に余るものがあります。また、強権的な手法による危険な原発再稼働など、課題は山積しています。

私たち立憲民主党は、右でも左でもない前に進む、まっとうな政治を取り戻し、共生社会を実現するために、皆さまとともに全力を尽くしてまいる決意でございます。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

末尾ではありますが、緑の党の益々のご発展と、本日もご参加の皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。ともに頑張りましょう！

★ **市民の政治トークの会共同呼びかけ人 白石 孝**

党の理念や基本政策の多くに賛同しています。しかし、政治勢力としては、いまだ力を発揮しているとは言えません。

ぜひ、この度の総会で、政策と組織さらには、日本全体の政治状況にあって、具体的に何をどう進めていくのかの熱い議論を期待しています。

★ **東京・生活者ネットワーク**

代表 西崎光子 大西由紀子 水谷 泉

緑の党第7回定期総会開催おめでとうございます。

通常国会がスタートし、安倍総理は会期中の改憲発議に意欲を燃やしており、いよいよ国民投票も現実味を帯びてきました。安倍政権下における改憲を阻止するために野党や多くの市民と連携していきます。また、東京・生活者ネットワークは誕生から今年で40年を迎えます。これまでの足跡をふりかえるとともに、人権の尊重を基本にだれもが人間らしく生きる、あたりまえの社会を実現するため、安心・共生・自治の理念で市民参加のまちづくりをすすめていきます。平和と民主主義、人権が守られる、希望のもてる社会に変えるために共に活動をすすめていきましょう！

★ **社会民主党（東京21区候補者） 小糸健介**

昨年の総選挙では立川市議の大沢豊さんをはじめ、多くの方々から力強い応援をいただき心から感謝いたします。

憲法改悪を阻止し、来年の統一地方選、参院選にそなえて仲間を増やし広げていく組織作りを共に励んで行きましょう。お集まりの皆様のご健康をお祈りしています。

★ **いわき市議会議員 佐藤和良**

緑の党第7回定期総会、おめでとうございます。

日頃のご厚誼に厚く御礼申し上げます。

今年3月11日には、東日本大震災、福島原発震災から丸7年。

しかし、福島第一原発事故の政府による原子力緊急事態宣言は、未だに解除されず、福島原発事故の収束と被災地の復興は、原発再稼働と東京オリンピックの後景に追いやられ、復興の加速化=帰還政策の促進、長期低線量被曝の受忍、被害者の切り捨てが進行しています。

2017年6月30日、東電福島原発事故の責任を問う刑事裁判が始まり、東京地裁は、1月26日の第二回公判を皮切りに、4月から6月まで13回の期日を指定し、秋までに証人20人、3人の被告人尋問まで終らせるとしています。「平成」に起こったことは「平成」のうちにと天皇退位の前に東京地裁判決が出る可能性があります。

福島原発刑事裁判支援団、告訴団とともに、事故原因の究明、旧経営陣3被告の有罪を求め、東京地裁に厳正な裁判を求めて全国署名を広げながら、傍聴活動と全世界への発信を担って頂ければ幸いです。

現在、北朝鮮をめぐる極東アジア情勢の緊迫化の中で、国民の生活は、好景気とは名ばかりの格差拡大の中、安倍政権の大企業優先・軍備拡大・国民負担の増大路線によって、厳しさを増しています。

2020年の新たな憲法施行一戦争のための憲法9条の改憲にむけ、早期に国民投票まで終えんとし、国民投票の国会発議を6月の通常国会終盤か、秋の臨時国会、国民投票は18年末か19年春までを想定するという安倍政権の目論みが明らかになっています。

緑の党に集うみなさまとともに、わたくしも、「いのちを守る」という原点に立って、今年もあきらめず行動していく決意です。

子どもたちの未来を創るため、一緒に力を合わせ、いのちを守る！平和で安心して暮らせる社会をめざして、一步一步前進してまいりましょう。

★ 衆議院議員（新潟1区） 西村ちなみ

第7回定期総会の開催を心よりお慶び申し上げます。日頃より、さまざまな市民運動に根ざした活動を展開されております皆様に、深く敬意を表します。

また、昨秋の衆議院議員選挙では、新潟市にて中山均共同代表をはじめ多くの方々から絶大なるご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。

今後とも皆様からは引き続き、草の根民主主義の実践活動を通してご活躍いただき、目標が着実に達成されますようお祈りいたします。私もともに頑張らせていただくことをお約束して、お祝いのメッセージとさせていただきます。

★ 日本共産党中央委員会

緑の党グリーンズジャパンの定期総会の成功を心から期待します。

先の総選挙では、野党共闘の分断という逆流をのりこえ、市民と野党の共闘を発展させるために、みなさんが力を尽くされたこと、また、小選挙区でわが党の候補者を支持していただいたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

いま、安倍政権は9条を改憲し、際限のない海外での武力行使に道を開こうとしています。また、原発再稼働、原発輸出の動きを強めています。

しかし、野党各党は、「安倍政権による9条改憲に反対する」「福島第一原発事故の検証のないままの原発再稼働は認めない」ことなどを市民連合との間で政策合意をしています。また、小泉純一郎元首相や細川護熙元首相らが顧問を務める原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）が基本法案を発表し、原発ゼロにむけた国会対応や運動を励ましています。私たちは、その実現に向けて力を尽くす決意です。

市民と野党の共闘の流れを本格的に発展させ、安倍政権を追い込み、国民が主人公の新しい日本、日本の政治

の新しい時代を切り開くために、ともに力をあわせましょう。

★ 立憲民主党衆議院議員 大河原まさこ

緑の党の皆さま、第7回定期総会の開催おめでとうございます。

昨年、立憲民主党の衆議院議員として国政に復帰できたのは、皆さまのお力あってこそと感謝しております。

今年は原発ゼロ法案の提出をはじめ、常に市民の皆さまと意見交換を行い、「つながる本部」の活動に力を入れ、市民政治の砦を築く正念場の一年として力を尽くして行きたいと思っています。ぜひ、ご一緒に前へ！

★ 新潟県知事 米山隆一

緑の党第7回定期総会の御盛会を心よりお喜び申し上げます。

緑の党の皆様におかれましては、市民が自ら決定し行動する民主主義、討議し政治に参加する民主主義を実践されるとともに、日本における「緑の政治」を着実に根付かせ、「未来への責任」と「信頼」に基づく社会を作るべく、御活動に邁進されておられます事に深く敬意を表します。

私は、政治の目的は、一人一人の幸福を可能な限り増やし、一人一人の不幸を可能な限り減らしていくことであると考えております。今までの政治の中で、ややもすると取り残されてきた一人一人の想いを丁寧に受け止めて、幸福の源である命と暮らしが守られると同時に、新潟県の、現在とそして未来への責任を果たす県政を実現したいと思っております。

昨年の衆議院選挙では、まさに「リベラル」が存亡の危機に立ちつつ、しかし踏みとどまろうとしているとの深い感慨を覚えました。「緑・リベラルの結集」を掲げ、ローカルでグローバルな視点を持ち、草の根民主主義を実践されておられる緑の党の皆様の御活動は、今後、ますます重要となるものと存じますことから、皆様の更なる御活躍を期待申し上げます。

結びに、緑の党の今後益々の御発展と、お集まりの皆様のお健勝をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

★ 立憲民主党政調会長代理 衆議院議員 逢坂誠二

緑の党第7回定期総会の開催、誠にありがとうございます。本日、ご参集の皆様、大変ご苦勞様でございます。

日頃より、私、逢坂誠二の議員活動に対し、皆様の特段のご理解を賜り、お礼申し上げます。

本定期総会で、今後の活動方針についての充実した議論が行われることを祈念申し上げます。

私、逢坂誠二は、お集りの皆様の強い思いが政府、国会に届けられるように、引き続き全力で取り組ませていただきます。

本日、ご参集の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。激励のメッセージとさせていただきます。

★ 社会民主党 党首 吉田忠智

緑の党第7回定期総会の開催おめでとうございます。日頃の皆様方の活動に敬意を表するとともに、私たち社

民党に対するご支援に心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年の総選挙では、改憲勢力が3分の2以上の議席を占めるなど、「安倍一強」と言われる危険な政治が続いています。暴走政治と戦争できる国をストップさせるため、

今後も「国民生活最優先」の立場でたたかう決意です。

自民党は今年の大きな課題に憲法改正を位置付けています。9条への自衛隊明記や非常事態への対処など危険な改憲は絶対に阻止しなければなりません。そのため3000万署名に全力をあげるとともに、基本的人権、幸福追求権、勤労者の権利など、憲法の理念・条文を暮らしや地域、雇用に活かす取り組みを進めていきます。

国会では、働き方をめぐる改革課題とともに、沖縄の基地建設反対、原発ゼロへの取り組みなど課題が山積みです。私たちは、野党共闘を立て直し、暴走政治からの転換と参院選に向けた議論と体制を作り上げるため努力を続けていく決意です。

結びとなりますが、定期総会のご盛会と「緑・リベラルの結集」にむけた皆様方のたたかひの前進を祈念しメッセージとさせていただきます。

★ 衆議院議員 菊田真紀子

緑の党第7回定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

先の総選挙におきましては、野党統一候補としてご推薦を頂きまして、誠にありがとうございました。改めて皆様の心強いご支援に厚く御礼申し上げます。

今国会において、いよいよ安倍政権は憲法改正に突き進む準備を進めています。多くの国民は憲法改正よりも生活や老後の不安に対する政策を望んでいるにもかかわらず、なぜ性急に進めようとするのか全く理解できません。しかしながら衆参ともに与党が3分の2の議席を占めており、国会の中だけで憲法改正の流れを止めることは難しいのが現実です。良識ある多くの市民や野党の皆様と幅広く連帯し、安倍政権下における憲法改正を許さない世論を形成していく必要があり、御党には是非ともその中核としてご尽力いただけることを期待してやみません。私も皆様と力をあわせ、憲法改正阻止、さらには総選挙で訴えた柏崎羽原原発再稼働阻止に向け、全力で闘ってまいります。

緑の党の皆様の方々の活躍をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

★ 弁護士 宇都宮健児

第7回定期総会の成功と、緑の党・リベラル勢力の躍進を祈念いたします。

★ 衆議院議員 近藤昭一

緑の党第7回定期総会のご盛会を祝し、心よりお慶び申し上げます。

御党の益々の御発展を祈念申し上げます。

★ 社民党副党首 参議院議員 福島みずほ

緑の党の仲間の皆さん、こんにちは！社民党の福島みずほです！

皆さんの日頃のご奮闘に対して、心より敬意を表します。

さて、昨年10月の総選挙では、自公が3分の2を占めるという、危機的な状況が再び起きてしまいました

した。まさに、日本国憲法の危機です。

集団的自衛権の名の下、自衛隊が米国とともに世界中で戦争するのか、それとも平和主義を守り通すのか、日本は大きな岐路に立っています。

1月22日から通常国会が始まりましたが、森友学園や加計学園をめぐる様々な疑惑は、いまだに全く解明されていません。

国民・市民への説明責任をまったく果たさない安倍総理に、総理大臣の資格はありません。このままでは、総理のお友だちか否かによって行政の判断が行われ、その責任を誰も取らないという、とんでもない政治がこれからも続いてしまいます。

労働法制を基準緩和し、安保法制を強行し、憲法改悪へと突き進む安倍政権を、一刻も早く退陣に追い込もうではありませんか！

そのためには、「エコロジー」「リベラル」を軸とした、人びとの広範な団結しかありません。今こそ、緑の党の皆さんの力の見せどころです！

2018年は、改憲阻止が大きなテーマとなる闘いの年です。今年も私は、緑の党の仲間たちとがっちりスクラムを組み、国会の内外で全力を尽くします！

本日の定期総会のご成功を心より祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

これからも、いっしょに元気に頑張りましょう！

★ 民進党（新潟県6区候補者） 梅谷 守

定期総会のご盛会をお慶び申し上げます。

昨年の総選挙では貴党よりご推薦を賜りましたことに、この場をお借りし改めて心より御礼申し上げます。

非自民の勢力を集結することが今とても大事です。一党他弱によるいびつでゆるんだ政治をただし、自由で公平な、そしてなによりも平和な国民の暮らしに繋いで参りましょう。

結びに、ご列席のみなさまのご健勝と、貴党のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

★ 社民党常任幹事 元衆議院議員 服部良一

緑の党第7回定期総会のご盛会、まことにおめでとうございます。

平和と環境、脱原発のために長年闘ってこられた皆様、心より敬意と連帯のご挨拶を申し上げます。

昨年の衆院選、私も大阪9区で闘いました。結果を出すことは出来ませんでした。ご支援に心から御礼を申し上げます。与党に議席の3分の2を取らせる結果になりましたが、安倍政権の退陣に向けてさらに市民と野党の共闘を強化していこうではありませんか。

今年には憲法改悪の国会発議がされる可能性が高まり、戦後の大きな曲がり角に立たされています。ますます貴党との連携が強化され、平和・環境・リベラルの政治結集が進展する必要性を痛感しています。ともに力を合わせて闘い抜いて参りましょう！

皆様の今後の益々のご奮闘・ご活躍を心から祈念致します。

交流会参加予定のみなさま（敬称略）

福田光一 新社会党中央執行委員(北区区議)
田村智子 日本共産党参議院議員
大河原雅子 立憲民主党衆議院議員

白石 孝 市民の政治トークの会共同呼びかけ人
菅 直人 立憲民主党衆議院議員
宮川千穂子 森ゆうこ参議院議員秘書